

競技注意事項

1. 競技規則について

- ①本大会は、2024年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。
- ②本大会では、日本陸上競技連盟規則 TR16.5 により、スタート中断の原因が競技者の責任でないと考えられる場合、あるいは審判長がスターターの判断に同意できない場合は、競技者全員にグリーンカードを提示して不正スタートを犯した者がいないことを示すが、TR16.7 に該当する場合は失格を、また不適切な行為には警告(イエローカード)を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、競技会から除外する。
- ③シューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)の厚さは、800m 未満の種目とフィールド種目(三段跳を除く)は 20mm 以内、800m 以上の種目および三段跳は 25mm 以内とする。また、競歩競技は 40mm 以内とする。規定外のシューズを使用しての競技参加は認めない。
- ④競技前、競技中、競技後に、競技靴などについて疑義が生じた場合、審判長は点検することができる。

2. 来場について

- ①原則として、有観客で実施し、健康状態に不安がない者の来場に制限を設けない。なお、政府等の発令や会場管理者による制限、感染状況の拡大に基づく主催者の判断によっては、予告なく制限することもある。
- ②会場での行動は、運営方針又は会場系の指示に従うこと。

3. 練習について

- ①練習(アップ等)は、本競技場と北口付近緑地帯を使用すること。
- ②本競技場での練習は以下のとおりとする。
 - 開門(8時30分)から第1競技開始10分前まで。芝生フィールド内への立ち入りは厳禁とする。
 - 「競技日程及び招集時刻表」のとおりとし、実施中の競技への影響や安全には十分配慮すること。なお、状況に応じて制限をする場合があるので、審判の指示に従うこと。
- ③招集後のフィールド種目の現地での練習は、該当競技審判の指示に従って実施すること。
- ④競技場備え付け以外のトレーニング用具(特にチューブやメディシンボール、フレキハードルなど)を持ち込んでの練習は原則禁止とする。
- ⑤競技開始後、ピストルの使用は禁止する。
- ⑥バックストレートで練習を行う際は、手荷物は芝生スタンドのフェンス前(グラウンド内)に置き、取り違え等の事故予防に努めること。
- ⑦園路は、ウォーキング、ジョギング以外で使用しない。

4. 競技場について

- ①本競技場の競技走路及び補助走路は全天候舗装である。スパイクのピンの数は11本以内、長さは 9mm 以内とする。ただし、走高跳・やり投の場合は 12mm 以内とする。また、ピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は 4mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない(TR5.2)。土用のピンの使用は厳禁とし、その他に競技場の使用規則に従うこと。
- ②会場での行動は、運営方針又は会場系の指示に従うこと。

5. 招集について

- ①招集所は正面スタンド外側のマラソングート付近(100mフィニッシュ側)に設ける。
- ②招集開始及び完了時刻はプログラムの競技日程及び招集時刻表を参照すること。
- ③招集は、定められた時間以内に招集所で、競技者自らがアスリートビブス、競技用靴、衣類、持ち物等の点検を受ける。以上をもって招集を完了とする。
- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ⑤「現地招集」は、競技開始前に現地でおこなう最終点呼をもって招集にかえる。

種目	招集開始	招集完了
トラック競技	3 0 分 前	2 0 分 前
走高跳・走幅跳・三段跳	7 0 分 前	6 0 分 前
砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投	7 0 分 前	6 0 分 前
棒高跳	9 0 分 前	8 0 分 前

- ⑥混成競技は両日ともに第1種目の招集開始及び完了時間は下記のとおりとする。ただし、2種目目以降の招集は競技開始時刻のトラック競技は20分前・フィールド競技は30分前に混成控所(ロッカールーム)で行う。

種目	招集開始	招集完了
混成第1種目(トラック)	3 0 分 前	2 0 分 前
混成第1種目(フィールド)	4 0 分 前	3 0 分 前

- ⑦2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集所競技者係に申し出て

【同時出場届】を受け取り、必要事項を記入し提出すること。

- ⑧招集完了後、トラック競技の選手は各ゲートの外で出発係の指示に従い、競技場に入場し、現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は競技場への入場を認め、審判の指示に従い公式練習を開始する。また、競技開始前に現地で点呼を受ける。
- ⑨リレー種目は、「10.リレー種目について」に記載する。

6. 棄権について

出場種目を棄権する場合には、招集開始時刻までに【欠場届】を招集所競技者係に提出すること。
【欠場届】は招集所で配布する。

7. 入退場およびコーチングエリアについて

- ①各スタンドおよび芝生スタンドには、各スタンドの裏側および各ゲートより入退場(第4ゲートは初日のみ開放)し、競技役員・その時間の競技に出場する選手・補助役員・主催者が許可した者以外はグラウンドには立ち入らない。
- ②競技者の入退場は次のとおりとする。
 - 100m・100mH・110mH
 - 第3ゲートより入場し、第1ゲートより退場する。衣類等の輸送は各校で行う。スタート地点に戻る場合は、バックストレートを通行する。
 - 400m・800m・1500m・400mH・3000mSC・4×400mR・Aゾーン使用のフィールド競技
 - 第1ゲート(フィニッシュ地点前方)を利用し、入退場する。
 - 走幅跳・三段跳
 - 正面玄関より入場し、正面玄関より退場する。
 - 4×100mR
 - 1走者第1ゲート(フィニッシュ地点前方)、2走者第2ゲート(1500mスタート地点)、3走者第3ゲート(200mスタート地点)、4走者第4ゲート(100mスタート地点)より入場する。退場は、原則として最寄りのゲートからとする。なお、衣類等の輸送は各校で行い、その時はスタンドあるいは場外を通行する。また、競技が終了した走者が自分のスタート地点に戻る場合は、審判の指示に従うこと。ただし、ホームストレートの通行は禁止とする。
 - 棒高跳
 - ・第2ゲートあるいは第3ゲートから入退場する。
 - その他の種目
 - ・第1ゲート(200mスタート地点)から入場し、トラック競技とAゾーンのフィールド競技は第1ゲートより退場、Bゾーンのフィールド競技は第3ゲートより退場する。なお、衣類等の輸送は各校で行い、スタンドおよび場外を通行する。
- ③混成競技に出場する選手が混成控え所(ロッカールーム3・4)に向かう際は、配布されたIDカードを着用して、正面玄関より入場すること。IDカードは第1種目の現地招集時に配布する。
- ④コーチングエリアを5か所設置する。(メインスタンド2カ所・両サイドスタンド1カ所ずつ・バックスタンド1カ所)コーチングエリアへの入場は、該当選手の試技時とし、指示後は速やかに退場すること。コーチングエリア内の居座りは禁止とする。
- ⑤更衣室の使用は女子のみとする。更衣室は更衣のみに使用する。
- ⑥練習のためにバックストレートを使用する場合は第2ゲートを、ホームストレートを利用する場合は第3ゲートを使い入退場する。

8. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは2枚を胸部と背部にそのままの大きさにユニフォームにつける。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部だけでもよい。
- ②トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードをパンツ右側後方につける。
- ③競歩種目に関しては招集所で特別アスリートビブスを受け取り使用し、競技終了後ゴール地点で返却する。

9. トラック競技の抽選・番組編成について(レーン順・試技順)

- ①トラック競技予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。
- ②トラック競技の決勝の組、走路順は本部で抽選し、招集所に掲示する。
- ③混成競技のトラック種目の組・走路順、フィールド種目の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。

10. リレー種目について

- ①リレー種目においては、競技規則に準じてメンバーを選出すること。
- ②リレー種目に出場するチームは、各招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意してあるオーダー用紙にオーダーを記入し提出すること。また、決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらずオーダー用紙にオーダーを記入し、決勝レースの招集完了時刻1時間前までに提出すること。

- ③リレー種目に出走する4人の選手は、4人揃って招集開始から完了時刻までに招集所で招集を受ける。
- ④リレー種目に出場するチームは、原則同一ユニフォームで参加しなければならない。

11. 計時について

すべてのトラック競技は写真判定(1/100秒)で行う。

12. トラック競技の準決勝・決勝進出について

①400mまでの種目及びリレー種目

同タイム者及びチームについては、写真判定を細部まで読みとり0.001秒単位で着差を判定する。それでも判定出来ない場合は、同成績とし、同タイム者、チームまたは代理人によって抽選する。

②800m・1500mの同タイム者については、次のラウンドに進出させる。

13. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は次の通りである。(天候、その他の条件で変更する場合もある)

種目	練習	練習②						
男子 走高跳	1 m 6 5	1 m 8 0	1 m 7 0	~ 5 c m	1 m 8 5	1 m 8 8	~ 3 c m	
女子 走高跳	1 m 3 0	1 m 5 0	1 m 3 5	~ 5 c m	1 m 5 5	1 m 5 8	~ 3 c m	
男子 棒高跳	2 m 9 0	適宜	3 m 0 0	3 m 2 0	3 m 4 0	3 m 6 0	~10 c m	
女子 棒高跳	2 m 2 0	適宜	2 m 3 0	2 m 5 0	2 m 7 0	2 m 8 0	~10 c m	
男子 混成走高跳	1 m 2 0	適宜	1 m 2 5	~ 5 c m	1 m 7 0	1 m 7 3	~ 3 c m	
女子 混成走高跳	1 m 1 0	適宜	1 m 1 5	~ 5 c m	1 m 4 5	1 m 4 8	~ 3 c m	

◎第1位及び関東新人大会出場を決定するためにジャンプオフを実施する。この時のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

○ジャンプオフの記録は公認しない。

○混成競技は選手の申告によって変更する場合もある。

14. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、支柱移動申請書を招集所で受け取り、自分の希望する支柱(アップライト)の位置を記入し、公式練習開始前に跳躍審判員に提出するか、現地にて担当審判員に申告する。その位置を変更したい場合も、ただちに担当審判員に申し出ること。

15. 競技用具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意した物を使用する。ただし、個人所有の棒高跳用ポールは、検査に合格したものに限り使用できる。(検査は現地で行う)

16. 制限タイムについて

長距離・競歩種目において競技運営上必要と認めた場合は、レースを中止させることがある。

ラスト1周が以下のタイムを超えてしまった場合

男子 5 0 0 0 m	1 8 分	女子 3 0 0 0 m	1 3 分
男子 5 0 0 0 mW	3 0 分	女子 5 0 0 0 mW	3 5 分

17. 入賞及び得点について

①入賞は8位までとする。関東新人大会の出場権は3位までの入賞者とする。但し、走高跳・棒高跳は3位までの入賞者3名とする。関東新人大会での混成競技は実施されないため除く。

②学校対抗得点は1位8点・2位7点・3位6点…6位3点・7位2点・8位1点とする。

③各種目合計得点により男女別学校順位を決定する。(同点の場合は上位種目の多い方を上位とする)

18. 表彰について

①開会式(優勝旗返還式)を第1日目 10:00 より行う。優勝旗返還該当校は優勝旗を準備すること。

②表彰は、種目別で8位までに入賞した競技者及びチームを競技終了後ただちに表彰を行うので表彰控え場所に待機していること。

③学校対抗表彰は男女8位までを閉会式で表彰する。

19. 競技場の中に商品名のついた衣類・バックを持ち込む場合について

競技場内に、下記規定以外の製造会社・ロゴがついた物品の持ち込みは、規定に抵触するので慎むこと。

①上半身の衣類 製造会社名/ロゴ:1 カ所・40cm²まで文字高さは5cm以内

学校名/ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つずつまで。

②下半身の衣類 製造会社名/ロゴ:1 カ所・40cm²まで文字高さは5cm以内

学校名/ロゴ 大きさ制限なしで1つまで。

③バック・タオル(ブランケット含む)

製造会社名/ロゴ:1個・最大40cm²まで文字高さは5cm以内

- ④ソックス・帽子・手袋(対になっているものはそれぞれに1つずつ)
製造会社名/ロゴ:1個・最大6cmまで文字高さは3cm以内

20. 抗議について

競技規則 TR8による。

21. 補助役員について

- ①競技開始30分前までに第1ゲート(フィニッシュ地点前方)外に集合する。
②補助員として競技場に入場する際は配布されたIDカードを身に付けること。

22. 清掃について

- ①自分で出したゴミは持ち帰りを原則とするが、競技終了後各地区で分担されている清掃場所から出たゴミについては分別処理をして所定の場所に捨てること。
②各地区常任委員清掃(消毒含む)分担箇所(下記の場所を責任を持って清掃すること)

第1支部	メインスタンド
第2支部	練習場エリア
第3支部	全トイレ
第4支部	競技場内

- ◎各清掃場所の確認は全日程において、全常任委員及び執行部で責任を持って行う。

23. 開門・場所取りについて

①本競技場

開門は8時30分とする。各地区に割り当てられた場所の指定された入場場所から、各校代表者2名以内が8時15分より入場する。割り当てられた場所への入場が終了後は、自由とする。*更衣室は控え場所として使用しない。

	場所	整列場所
第1支部	メインスタンド裏	スタンド裏コンコース正面階段
第2支部	メインスタンド裏	スタンド裏コンコース正面階段
第3支部	バックスタンド1F	100m スタート付近ゲート(北側)
第4支部	メインスタンド裏	スタンドコンコース裏正面階段
	Aゾーン緑地帯	ゴール付近ゲート(南側)
	Bゾーン緑地帯	100m スタート付近ゲート(北側)
第1支部	芝生スタンド	ゴール付近ゲート(南側)
第2支部	芝生スタンド	ゴール付近ゲート(南側)
第3支部	芝生スタンド	100m スタート付近ゲート(北側)
第4支部	芝生スタンド	100m スタート付近ゲート(北側)

②その他場所取り可能エリア

- ・別紙に示した通りとする。

③諸注意

- ・①②に記載された場所以外の場所取りは禁止とする。
- ・各校のテント・シート等の控え場所は1か所限定とする。
- ・テント、ターフ等の設置に使用したペグ類は、必ず撤去する。
- ・樹木等にロープを巻き付ける等の傷めるような行動は慎む。
- ・控え場所での三密の回避および消毒を徹底する。
- ・緑地帯では、他の施設の利用(駐車場を含む)や公園内の散策・通行の妨げにならない場所のみ使用可とする。また、主催者および公園管理者の指示に従うこと。
- ・各緑地帯は、毎日撤収し、マークや紐等で場所を確保することは禁止する。
- ・芝生スタンドの場所取り可能エリアは、上側半分とする。
- ・芝生スタンドおよび緑地帯にテント等を設置する場合、ロープ、ペグを使用し飛ばないように固定する。なお、大会期間中、テントの骨組みのみは残置してかまわない。
- ・控え場所には、必ず一名は待機し、貴重品の管理を徹底する。

24. その他

- ①競技会で発生した傷病は主催者側で応急処置をする。医務室はスタンド下フィニッシュ付近に置く。
②横断幕・のぼりは設置しない。
③各学校の荷物は全て毎日持ち帰ること。ただし、緑地帯と芝生スタンドは設置したテントの骨組みのみ置いて帰ることができる。
④貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意すること。

- ⑤トランシーバー・携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ(受信機能のあるもの)・ビデオカメラ・音楽再生機器等を競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑥3000mSC 及びやり投に出場する選手は、安全のため必ずスパイクシューズを着用すること。
- ⑦三段跳の踏切位置は男子11m、女子9mとする。
- ⑧投てき競技に出場する選手は炭酸マグネシウムを持参することが望ましい。
- ⑨競技場での日傘の使用は禁止とする。ただし、フィールド競技のみ天候に応じて認める。
- ⑩選手の本部への立ち入りを禁止とする。
- ⑪記録会のフィールド種目は、新人戦の同種目と同時に実施し、各ラウンドの最後に試技を行う。投擲種目および走幅跳・三段跳は3回の試技とする。

25. 関東新人大会の申し込みについて

各種目3位(走高跳・棒高跳は3位3名、混成競技は除く)までの競技者は関東新人大会の大会要項を入賞者控え場所あるはTICにて受領すること。

- ・関東新人大会申込締め切りおよび打合せ 10月1日(火) 10時30分(時間厳守)
- ・申込持参先 千葉県総合スポーツセンター 第3研修所